

2024年11月6日(水)～2024年12月18日(水) (計7日間7時間)

〈講座概要〉

本講義は、まちの価値を再考する。現在の地方都市では高齢化と空洞化が進み、時に地震に襲われ街が壊れる。熊本の「創造的復興」などに見られるように崩壊からの復興には多様な想いが巡る。最新の学術方法をもちいて過去事例を読み解き、先人が復興にかけた問いと目的を深掘りする。

◆募集定員	15名
◆受講対象者	一般 海外の都市事情に関心のある方。
◆受講料	6,300円
◆申込期限	10月23日(水) 17:00
◆実施場所	高岡キャンパス B-210
◆特記事項	

〈講座内容〉

回数	期日	時間	題目	講師氏名	所属・職名
1	11月6日(水)	18:00～19:00	何から復興するのだろうか	上原 雄史	芸術文化学部・教授
2	11月13日(水)		分析対象、中国都市とアメリカ都市の復興		
3	11月20日(水)		中国城中村の共産主義からの資本主義的な「復興」		
4	11月27日(水)		アメリカ都市のスラムからの自由主義的な「復興」		
5	12月4日(水)		建築叡智システムと推論、アクター・ネットワーク・セオリーによる分析		
6	12月11日(水)		人は「復興」に何を求めてきたのだろうか		
7	12月18日(水)		「復興」を可能にしてきた事例紹介		

〈県民カレッジ単位〉

5単位